

2. 教育研究・調査事業

① 活動方針

教育研究所において、高等学校教育を中心とした教育の理論的研究、実証的研究を行い、職場・地域にねざした活動に積極的に取り組む。本年度も前年度に引き続き神奈川県立高校を中心とする高校再編・統廃合の動向に注目する。しかし、それを現場からだけの問題提起に留めずに、広く研究者にもフィールドを提供することで、より広い見地から「高校教育改革」問題の研究・提言をしていきたい。また、今年度は「教育課程に関するアンケート」を実施し、その分析結果・考察を『神奈川の高校教育白書2002』に掲載する。

② 会 議

月1回程度の研究所員会議を開催するとともに、独自調査のための会議、Eスクール（現在は主にHPの内容に関してのこと）の検討会議を適宜開催する。さらに、所員会議以外に年3回（学期に1回）、フリートークを行う予定である。その際、参加者を現研究所員に限らずに、研究所員OBや外部の者も交えた拡大所員会議とし、幅広い観点で議論を行いたい。

③ 発行誌・紙

所報『ねざす』を年に2回、研究所ニュース「ねざす」を年3回発行する。また、研究所独自調査を盛り込んだ『神奈川の高校教育白書2002』を発行する。

④ シンポジウム

2001年度に公開シンポジウム「どうつくるか『総合的な学習の時間』」を開催した。2002年度も保護者・生徒・教育関係者など、広く県民に開かれた同様なシンポジウムを開催し、高校教育をめぐる諸問題について研究・討議を進める予定である。

⑤ 研究交流

県内外の研究所・研究組織との研究協力ならびに情報交換をする。現在、教育総研夏季教育研究会への参加をはじめ、東工大の矢野研究室、東大の荻谷研究室と連絡をとりあっている。さらに、研究協力をすすめるとともに、他の研究者・研究室とも連携を深めることで本研究所の広がりをめざしたい。また、2001年度には教育社会学会が東京で開催されたこともあり、特別研究員が参加したが、今後もこうした教育関係の学会等にも予算と時間の許す限り参加したい。

⑥ HP

当研究所のHPには、研究所ニュース「ねざす」の全文および所報『ねざす』の所員レポートを中心に掲載する。今後はよりアクティブなHPをめざして検討中である。

3. 研究助成事業

- ① 高等学校教育に関する研究活動を行う団体・またはグループに研究助成金を交付し、神奈川の高等学校教育発展に寄与する。
- ② 必要に応じ実践研究団体と提携し助成する。
- ③ 研究助成のまとめを県民図書室において、有効活用可能な状態に分類整理し、書架に常備する。また、必要と思われるものは、書籍として発行する。

4. 講演会・研究会・学習会事業

- ① 教職員・父母などのための講座を開催する。

『教職員のための教育講座』について

教育現場が抱える多様な課題への取り組み支援のために、次の3つの講座開催方法で対応す